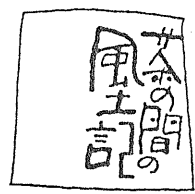




各種団体等の会長

現在、桂坂学区には二〇近い各種団体があります。行政と直結しているもの、民間の団体、そして桂坂で生まれた団体とあります。

- 共同募金会 田畑 昭三
- 日赤奉仕団 田畑 昭三
- 交通安全推進会 森田 啓三
- 暴力追放協議会 菊池 潤治
- 防犯委員会 鹿野 準一
- 文化普及会 奥野 信孝
- 体育振興会 永江 望昭
- 少年補導委員会 馬江 芳雄
- 遺族会 黒川眞佐子
- 桂坂・山の手俱樂部 立野 和之
- 桂坂小学校PTA 平手 謹一
- 桂坂自主防災会 菊池 潤治
- 地域女性会(準備会) 安楽つねみ
- 献血会 松尾 隆夫
- 松尾 隆夫
- 社会福祉協議会 湯浅 忍
- 民生児童委員協議会 酒井 厚
- 保健協議会 松尾 隆夫
- 献血会 松尾 隆夫



大枝 今は昔 (4)

前回、大枝中学開校に際しての大枝の方々の協力について触れましたが、その辺りを田原正夫元大枝自治会長のお話からたどってみます。また、今回の記事を書くに当たっては、山崎嘉久大枝中学校長のお話も参考にさせていただきました。

大枝中学校は、ご存知のように平成元年四月に、桂坂小学校と同時開校しました。校名は、地域での公募

山の間たる所に段々畑が広がって、厩根から堀まで石で出来た家が点在している。そして、家の前には、牛糞が積まれていた。この牛糞は、貴重な燃料になるのである。ハイキング中に出会った村の人からは「ナマステニ(こんにち)は」という声を気軽に掛けてもらった。道中には、真っ赤なしゃくなげの花や白いランの花が咲き、ハイキングに疲れた私たちの目を楽しませてくれた。気候は典型的な大陸性気候で、日中は三〇度近くまで温度が上がるが、夜は五度近くまで温度が下がる。このせいかどうかかわからないが、ハイキング中に電(ひょう)の交じった雨が雨に出会った。

昭和二十五年三月に、大枝中学は廃校となり、生徒は、京都市立上程中学に委託され、移って行ったので、同年十二月二十五日、大枝村は、京都市右京区と正式に編入、中学生は桂中学への通学となりました。

現在の大枝中学校の北門を入ったところに記念碑があります。それは、大枝、大原野に現在も在住の、旧大枝中学の同窓生が、校名復活を記念して設立されたものです。さまざま歴史を刻んできた大枝とこれから歴史が刻まれていく桂坂の、それぞれの思いが、大枝中学には託されているのです。

この会は、「地域の安全にかかわる各種情報の伝達」「各種の要望・意見の把握と警察への連絡」「防犯上必要な事項の通報連絡」などの役割に加え、地域の自治組織をはじめ、地域の団

自分たちが作った、金属細工や石の彫刻などを道中売っているが、ここでは、買ひ物は完全な相対取引である。欲しい物があるときす交渉が始まるのである。「いくらなら買う」「いくらなら売る」「いや、それなら売らない」といった交渉を繰り返して、いわゆる商談が成立するのである。なれない経験であったが、結構面白かった。また、今回、寝袋で寝るといふことも初めての体験であった。

今回、ハイキングが目的であったが、ヒマラヤ山脈の美しい風景以上に、なぜかシェルバの、くたくたのない笑顔が印象に残った旅行であった。

「特別養護」というのは、常時の介護が必要で、在宅の生活が困難なお年寄りのための施設です。平均年齢八十三才。さまざまな生活を送られて来られた方の生活の場です。

▼折々の自然・天文・人事などをスケッチした発句の数々から特段の「物」が寄せ集められて「歳時記」が出来てきましたが、季節の微妙な移りゆきを知り、草花の多種多様に堪能するにも、これは格好の手引き書です。

「完」

大枝中学 5/14

水日出樹寮

老人福祉に

大枝中学校 5/14

水日出樹寮

老人福祉に

大枝中学校は、この春開校六周年を迎えました。このたび、基太村元PTA会長を中心に「大枝中学創立十周年記念事業実行委員会」が結成されました。

特別養護老人ホーム沓掛寮は、昭和六十二年四月に五十床で開設。平成三年、沓掛寮デイサービスセンターの開設。さらに平成四年四月、長期利用八十五名、短期利用八名、デイサービスセンター「日平均十五名、計百八名のお年寄りが集う大施設となりました。

▼古来「松」のことは「松に習」ってスケッチしてきたものを、今は「歳時記」を通して「自然のありよう」に迫り、思いがけぬ発見に小躍りしたりします。

現在の大枝中学校の北門を入ったところに記念碑があります。それは、大枝、大原野に現在も在住の、旧大枝中学の同窓生が、校名復活を記念して設立されたものです。

「特別養護」というのは、常時の介護が必要で、在宅の生活が困難なお年寄りのための施設です。平均年齢八十三才。さまざまな生活を送られて来られた方の生活の場です。

▼折々の自然・天文・人事などをスケッチした発句の数々から特段の「物」が寄せ集められて「歳時記」が出来てきましたが、季節の微妙な移りゆきを知り、草花の多種多様に堪能するにも、これは格好の手引き書です。

現在の大枝中学校の北門を入ったところに記念碑があります。それは、大枝、大原野に現在も在住の、旧大枝中学の同窓生が、校名復活を記念して設立されたものです。

「特別養護」というのは、常時の介護が必要で、在宅の生活が困難なお年寄りのための施設です。平均年齢八十三才。さまざまな生活を送られて来られた方の生活の場です。

▼折々の自然・天文・人事などをスケッチした発句の数々から特段の「物」が寄せ集められて「歳時記」が出来てきましたが、季節の微妙な移りゆきを知り、草花の多種多様に堪能するにも、これは格好の手引き書です。

現在の大枝中学校の北門を入ったところに記念碑があります。それは、大枝、大原野に現在も在住の、旧大枝中学の同窓生が、校名復活を記念して設立されたものです。

「特別養護」というのは、常時の介護が必要で、在宅の生活が困難なお年寄りのための施設です。平均年齢八十三才。さまざまな生活を送られて来られた方の生活の場です。

▼折々の自然・天文・人事などをスケッチした発句の数々から特段の「物」が寄せ集められて「歳時記」が出来てきましたが、季節の微妙な移りゆきを知り、草花の多種多様に堪能するにも、これは格好の手引き書です。

現在の大枝中学校の北門を入ったところに記念碑があります。それは、大枝、大原野に現在も在住の、旧大枝中学の同窓生が、校名復活を記念して設立されたものです。

「特別養護」というのは、常時の介護が必要で、在宅の生活が困難なお年寄りのための施設です。平均年齢八十三才。さまざまな生活を送られて来られた方の生活の場です。

▼折々の自然・天文・人事などをスケッチした発句の数々から特段の「物」が寄せ集められて「歳時記」が出来てきましたが、季節の微妙な移りゆきを知り、草花の多種多様に堪能するにも、これは格好の手引き書です。